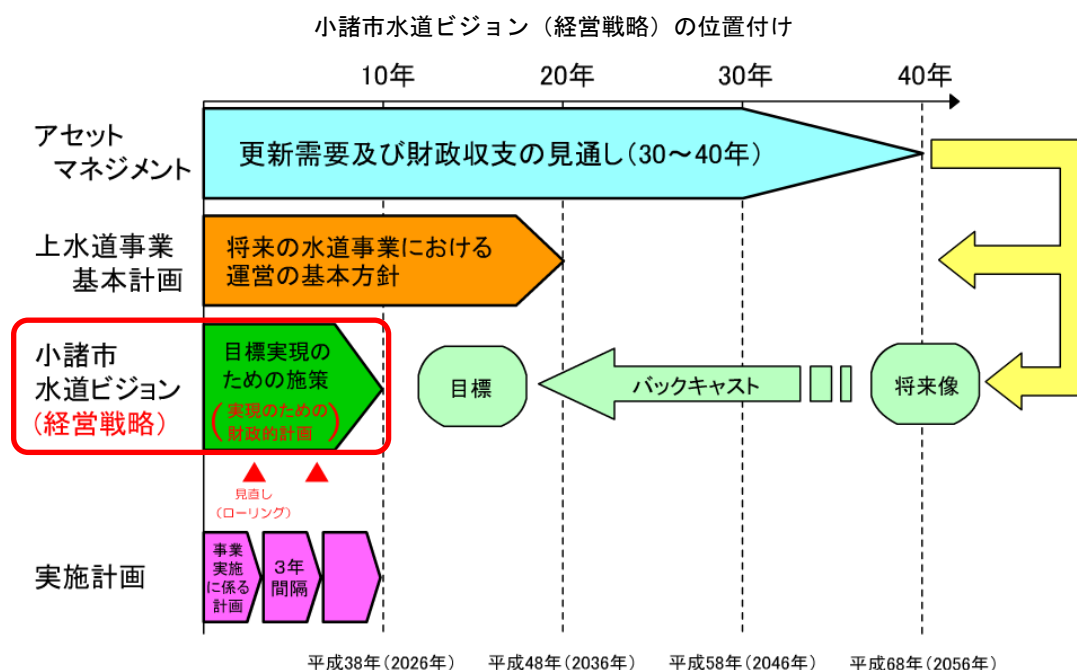


小諸市水道ビジョン 2017（概要版）

小諸市水道ビジョン 2017 の位置付け

小諸市水道ビジョンは、上水道事業基本計画（以下「基本計画」）に基づき当初の10年間である平成38年度までの具体的施策を定めたものですが、時代背景、運営状況、市政の方針等に柔軟に対応できるよう基本計画より短い期間での運用としています。水道ビジョン全般の見直しは10年毎となりますが、進捗管理及び見直しは実施計画に合わせ3年単位（当初のみ4年）で行い、状況に柔軟に対応できる計画としています。



小諸市水道ビジョン 2017 における具体的施策

小諸市水道ビジョン 2017 は基本計画の当初10年における具体的施策を、厚生労働省の新しい水道ビジョンに合わせ「安全・強靱・持続」の3つのテーマでまとめています。

(1) 安全

老朽化の進む水源施設については計画的に更新や補修を行い、水量・水質の保全を図ると共に効率的な配水計画の作成を進めます。

また、想定されるハザードへの対策を講じると共に、人材育成や組織体制の見直しにより緊急時の対応力向上を目指します。

さらに、情報及び媒体の整理を行い、分かりやすく親しみやすい情報提供を目指すと共に、新しい媒体の検討も含めユーザーにより近い情報提供を目指します。

(2) 強靱

水道施設の更新は、基本計画の方針に基づき計画的な更新を行うものとし、管路については重要度の高い非耐震管から優先的に更新を行いますが、配水池等については使用量の推移によっては規模の再検討が必要となることから、当面は補修等による維持管理を優先

とします。なお、旧御牧ヶ原水道の給水地区については、石綿セメント管の残存率が高いことから同管の布設替えを最優先に行います。

また、公民連携や民間委託、広域連携の研究・検討を進め効率的で安定した事業運営を目指します。

(3) 持続

水量・水質・水圧等を安定的に供給できるよう配水計画の検討を進め、自己水源の有効活用により長距離送水等のリスク軽減を図ると共に、施設管理体制の強化により施設の機能維持及び設備の長寿命化を図ります。

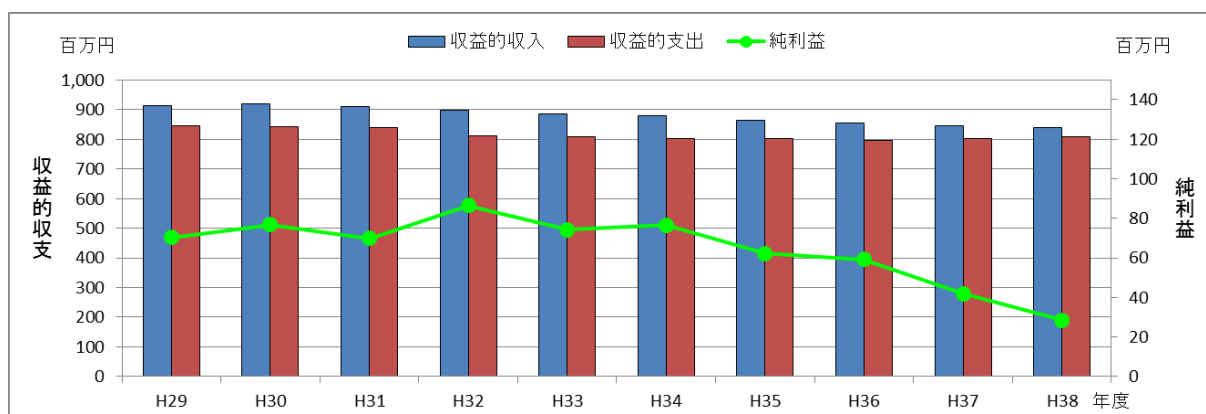
また、業務や組織体制の見直しにより効率的な事業形態の検討を進め、受益者の負担を最小限に抑える取り組みを進めると共に、様々な運営手法や形態の研究・検討も積極的に行い、効率的かつ機能的な経営体制の構築を図ります。

投資・財政計画

投資・財政計画は、平成 26 年度に御牧ヶ原水道組合の統合に際して作成した財政計画を基本とし、平成 26 年度以降の実績値等を踏まえて作成しました。

計画期間における収益的収支は概ね利益が見込めますが、経営改革等による経費削減も見込んでいるため、より効率的な事業運営を行っていく必要があります。

収益的収支と純利益の見込み（グラフ）



施設の更新等に要する建設改良費は、平成 38 年度まで毎年 2 億 5 千万円程を想定しており、その約 60%（1 億 5 千万円）を企業債の借入としていますが、長期的に借り続けると経営を圧迫することが見込まれたため、財政計画についても概ね 3 年毎に見直しを行います。

なお、水道料金については、平成 32 年度までは現行の料金水準とし、平成 31 年度までの施設更新及び財政状況を検証した上で見直しを検討するものとし、見直しの際には利用者からの意見も交え決定していきます。

※詳細は「小諸市上水道事業基本計画書」をご覧ください。